

Annual schedule

一般社団法人 高槻青年会議所 2024年度 年間スケジュール

month	contents
1月	新年互例会 定時社員総会 京都会議 会員拡大委員会 総務委員会
2月	2月例会・LDタイム インクルーシブ社会推進委員会
3月	3月例会・LDタイム 次世代のリーダー育成事業 ブランディング戦略委員会 リーダー育成委員会
4月	4月例会・LDタイム わんぱく相撲高槻場所 こいのぼりフェスタ1000 会員拡大委員会 青少年育成委員会
5月	8LOM合同例会 防災・減災事業 青少年育成委員会 レジリエンス社会創造委員会
6月	6月例会・LDタイム 大阪・関西万博関連事業 JCカップU-11少年少女サッカー大会 ASPAC（アジア・太平洋地域会議） リーダー育成委員会 インクルーシブ社会推進委員会
7月	近畿地区大会ブース出展 臨時社員総会 サマーコンファレンス レジリエンス社会創造委員会 インクルーシブ社会推進委員会
8月	8月例会・LDタイム 高槻まつり 青少年育成委員会
9月	9月例会・LDタイム 大阪ブロック大会ブース出展 水都くらわんか花火大会への参画 レジリエンス社会創造委員会 インクルーシブ社会推進委員会 会員開発委員会
10月	3LOM合同例会 第73回全国大会 福岡大会 リーダー育成委員会
11月	11月例会・LDタイム JCI世界会議 8LOM合同親睦事業 会員開発委員会
12月	卒業式 会員大会 総務委員会 ブランディング戦略委員会

Pick UP EVENT

EVENT 01 こいのぼりフェスタ 1000

高槻青年会議所の卒業生が作り上げた「こいのぼりフェスタ1000」も例年多くの地元ボランティアの方に支えられ実施しています。現在は「こいのぼりフェスタ推進協議会」に出向し、毎年2月頃からこいのぼりの修復作業やワイヤーチェック作業を行っています。そして春を迎えいよいよこいのぼりを掲揚し、当日は自転車置き場整備や出店運営を、そして最終はこいのぼりの撤去まで、芥川の河川愛護と子供たちの健やかな成長を願い、お手伝いさせていただいています。



EVENT 02 JCカップU-11 少年少女サッカー大会

JCカップは勝敗だけに拘らずお互いを認め合い健闘し合える精神を養うことと、魅力あるまちの発展をめざした日本青年会議所の事業です。2018年より高槻青年会議所としてJCカップ高槻大会を開催しており、2022年度からは高槻市サッカー連盟様と共催で開催しています。



EVENT 03 わんぱく相撲高槻場所

日本の伝統文化である相撲を通じて、心身の鍛錬と健康の増進を目的として1977年に東京青年会議所から全国に広まり、全国各地の小学生力士が参加する最大規模の相撲大会です。全国大会は東京の両国国技館で開催され、大相撲と同じ土俵で取組が行われます。地区大会となる高槻場所は2024年に第11回目を迎えます。



2023～2027 JCI高槻中長期ビジョン 多彩な個性が織りなす共創社会

多彩な考え方・価値観をもった地域の人・企業・団体が、対話や協力によって、社会課題にアプローチし、共に新たな価値を生み出していく地域社会 詳しい資料はコチラから



実現するための5つの柱

社会	人材	組織	環境	経済
① 多彩な主体との連携強化 ② 地域の活性化と魅力発信 ③ 主権者教育の推進 ④ ソーシャル・インクルージョンのまちづくり	① 日本や地域への郷土愛の醸成 ② グローバル人材の育成 ③ 文化・スポーツを通じた青少年の健全育成 ④ 課題創造型人材の育成 ⑤ 生涯学習の推進	① 多彩な仲間による組織づくり ② 会員の成長を促す組織運営 ③ 組織ブランディングの向上 ④ 活動しやすい環境づくり ⑤ パートナーシップの構築	① 防災・減災への取り組み ② 環境問題への意識醸成 ③ 資源循環型社会の推進	① 多様な働き方の推進 ② 次世代のリーダー育成 ③ DXの推進 ④ 大阪・関西万博を契機としたまちづくり

FIVE PILLARS TO REALIZE OUR VISION



第57代理事長 加藤 良正

2023年度スローガン



～つながりから新たな可能性を創出する～

2023年度を振り返って

新年あけましておめでとうございます。

昨年は多大なご協力をいただき、誠に感謝御礼申し上げます。2022年の創立55周年の際に提言させていただいた、中長期ビジョンの達成に向けて邁進する事ができました。

まず、行政ならびに関係する地域諸団体、志を同じくする各地の青年会議所に感謝の意を捧げたいと思います。わんぱく相撲を始めICTにおける教育事業などを実施することで地域との関係性強化を図ることができました。各地青年会議所の皆様におかれましては、合同で事業を企画させていただいたり、素晴らしい事業に参席させていただく事で今後に繋がる展開を学べました。平素からのご指導ご鞭撻がなければ、成り立たないものです。

また、創立60周年に向けて組織内の資質向上を実現できました。「人の成長は人に与えられることで成しえる」という信念のもと一人ひとりに向き合い考えました。JCという組織に属することで、個々がどのように向上していくのか、困難な場面においても一緒に取り組める仲間をどのように増やしていくのか、様々な視点で取り組んだ結果、やりがいのある組織として感じていただくことができました。

さらに、高槻青年会議所が地域とのハブとなるため、高槻まつりやこいのぼりフェスタ1000を始めとする事業には卒業したメンバーと力を合わせてご協力させていただいています。高槻青年会議所はメンバーが卒業してからも地域社会の牽引役となるため邁進しています。これからも、高槻市・島本町が明るい豊かなまちとなるため人材のリーダーシップを向上させるため取り組んで参ります。

最後になりますが、昨年一年間の感謝の気持ちを込めて、皆様に心からの御礼を申し上げます。新しい年が皆様にとって幸せて充実したものとなりますよう、心から祈念致します。



JC JOURNAL 2024

理事長所信 Belief of the president

一般社団法人高槻青年会議所2024年度スローガン

Follow Your Heart

一人ひとりの個性が輝く社会の実現

第58代理事長 竹中 健

高槻市議会議員

はじめに

青年会議所は、本場に「社会により良い変化」をもたらすことができるのでしょうか。

JC 運動とは「地域社会を持続的に発展させていく仕組みを創ること」を指します。それであれば、一度きりの講演会やイベントで終わらせることなく、本気で地域社会の持続的な発展を目指し、希望をもたらす変革の起点を創ることができれば、JC 運動の先に「社会により良い変化」を生み出すことができるはずです。

しかし、その青年会議所の無限の可能性に、実は私たち自身が気付くことができていないのかもしれない。それはなぜなのか。会員それぞれに入会動機があり、地域のこと、日本のことをいきなり真剣に考えろと言われても難しく考えてしまい、きっと「自分事」だと捉えられていないからなのではないでしょうか。

自分、家族、地域、大阪、関西、日本、そして世界。

自分事だと思える範囲が広がっていけば、視点が変わり、意識が変わり、行動が変わっていくはずです。つまり、地域を変えることも、日本を変えることも、どこまでいっても「自分」を変えることの延長線にしかない。私は考えています。地域や日本を変えようとするのではなく、まずは自らの心に問い、自らを律し、自らの意志で、自らの人生を切り拓いていく。

私たち会員一人ひとりが徹底的にセルフプロデュースを行い、より大きな希望を持ち日々輝いていれば、高槻青年会議所は社会をより良くするための本気の運動を創る団体になることができると確信しています。“Follow Your Heart”

社会により良い変化をもたらすための答えは、きっとあなたの心の中にあるはずです。自らを変え、地域を変え、日本を変える本気の挑戦を一緒に始めましょう。

成長を実感できる組織運営

青年会議所のミッションは「青年が社会により良い変化をもたらすためにリーダーシップの開発と成長の機会を提供する」ことです。我々はその使命を志せることなく、会員が成長を実感できる組織運営をしていかなければなりません。

青年会議所の会員は、各々家族を持ち仕事をして日々暮らしている中で、自ら年会費を払い明るい豊かな社会の実現のためにボランティアで活動しています。だからこそ、他人に与えられた目的のためではなく、自ら目的を定め、その目的達成のために全力で努力をし、結果をつかみ取りに行く気概が必要です。

その経験の先にある「まだ出会ったことのない自分」に出会える感動と成長を感じられる組織運営を目指してまいります。

さらに、成長を実感できる組織になることができれば、会員一人ひとりがおのずと胸を張って高槻青年会議所を周りの友人・知人に紹介できるようになるはずです。青年会議所の魅力を頭で語るのではなく、心で語る。そうすれば必然と我々の仲間は増えていくはずです。加えて、属人的な動きではなく、組織全体で責任を持ち会員拡大に取り組んでまいります。JC の理念に共感した仲間を増やし、地域により大きな貢献をすることで、これからも高槻青年会議所はまさに必要とされる組織であり続けます。

多様な社会を生きる青少年育成

急速なグローバル化や情報化の進展により、これまで正しとされていたことやひとつの価値基準で人生を描くことが困難な時代になっており、閉ざされた日本社会の中だけでは生きることが難しく、世界の潮流の中で強く生きていくための青少年育成が求められています。そのような多様な社会をこれから生き抜いていく子供たちには、人種・国籍・性別などの表層的ダイバーシティに加え、価値観やパーソナリティなど認識しづらい深層的ダイバーシティに対する理解を養う必要があります。

あわせて、他者を尊重し協力・協働していくためには、自らの中にある答えを自ら見つけ出し、自分を大切に思える力として自己肯定感を育む必要もあります。世界で活躍する人材を育成するために、自分を大切にし、他者を尊重できる力を養い、語学力向上だけに留まらない国際感覚が豊かなグローバル人材の育成に取り組んでまいります。

また、他者に感謝し思いやりを持った青少年の育成のためにはスポーツを通して学びも適切だと考えます。日本の伝統的スポーツである相撲を通じて、勝負の勝ち負けではなく「挑戦することの意義」を感じてもらうことで、新たな挑戦を目指す子供たちの健全育成に努め、子供たちの強くしなやかな心を育んでまいります。

地域を牽引するリーダー育成

日本は人口減少・少子高齢化により、今後より一層の国内市場の縮小が進む中で、これまで以上にインベーションが生まれづらい環境に置かれており、さらなる経済成長の停滞が危惧されています。また、AI やIoT などの急速なデジタル化が進む時代において、人々

の働き方は大きく変革を求められています。

地域リーダーの育成というミッションを持つ青年経済人の団体である高槻青年会議所には、ともに地域経済を牽引するリーダーの発掘・育成支援に取り組む責任があります。デジタル技術を駆使しながらインベーションを生み出しやすい地域づくりを行い、地域の次世代のリーダー育成に取り組むことで、地域経済の発展に邁進してまいります。

また、答えがなく将来予測が困難な時代において、地域を牽引するリーダーには課題を自ら設定し、多様な社会の中で様々な手法を用い解決する能力が求められています。社会の閉塞感を打破し、希望が溢れる社会を創っていくために、これまでの常識や当たり前ととらえられていることに対しても疑問を持ち、自ら積極的に課題を設定し、解決に取り組む課題創造型人材の育成に取り組んでまいります。

強靱で持続可能なまちづくり

近年、温室効果ガスによる温暖化に伴う豪雨災害や猛暑などの異常気象、化学物質が排出されることによる人や動植物への悪影響等の「環境リスク」が大きな問題として叫ばれています。SDGs でも目標として掲げられているように、持続可能な社会の実現のためには、私たちが住み暮らすこの地球の環境を守るための具体的な行動が求められています。国内外の環境問題を啓発する機会を創出することで一人ひとりの環境問題に対する意識醸成を図ることや、ごみの発生抑制や再利用に対する市民の意識を高め、5R の取り組みを推進することで、環境リスクに対応したまちづくりに取り組んでまいります。

また、地震や台風、水害・土砂災害などの「災害リスク」も対策が必要な問題です。我々が住む高槻市・島本町においても、2018 年の台風 21 号による豪雨災害や大阪北部地震など、近年相次いで発生した自然災害により大きな被害を受けました。さらに、今後 40 年以内に 90％程度の確率で発生するとされている南海トラフ地震のリスクも抱えており、災害リスクに対応したまちづくりが求められています。自助・共助・公助の強化のために行政機関や関係団体との連携を行い、災害に強いレジリエントな地域社会の創出を進めてまいります。

誰一人取り残さないまちづくり

インクルーシブの概念が語られるようになり久しいですが、教育分野や福祉分野だけでなく、各企業においても提供する製品やサービスに対して、インクルー

シブ社会の実現に向けた取り組みを始めています。行政機関や企業の商品・設計・サービスなどにおいて、インクルーシブな「もの」や「こと」が増えていくことで、多彩な個性を持つすべての人々が、より大きな希望を持ち、機会に満ちている社会に変えていくはず です。だからこそ、年齢・性別・国籍・障がりの有無・価値観等に関わらず、すべての人々がそれぞれの個性を発揮して社会に参画し、お互いに多様性を認め合いながら共生し、住み慣れた地域で幸福を追求できる「インクルーシブ社会」の概念の普及に努め、誰もが自分らしさを実現できるまちづくりに取り組んでまいります。

また、2025 年に開催を予定している大阪・関西万博も誰一人取り残さないまちづくりの 1 つの大きな契機になると考えます。大阪・関西万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」は、「誰一人取り残さない」を理念に掲げている SDGs と合致するものです。中長期ビジョンでも SDGs の推進を掲げており、大阪・関西万博の開催地である大阪府内で活動する高槻青年会議所としては、この絶好の機会を活用しない手はありません。大阪・関西万博にかかる運動を通じて、SDGs のさらなる普及に努めるとともに、地域の企業・団体の発掘と成長を目指してまいります。

組織内外に向けたブランディング構築

地域の人々や会員から高槻青年会議所の運動への共感を得るためには、組織内外への発信方法や頻度はもとより、その運動の「目的」や「理念」を丁寧に伝えていくことが必要です。

まずは、地域の人々に対するアウターブランディングを推進してまいります。我々がどのような想いや理念を持って活動に取り組んでいるのかについて、SNS や WEB サイトを活用し、何をやるだけでなく、その運動に取り組む背景や目的を重視した情報発信に取り組めます。アウターブランディングの実施の先に、

高槻青年会議所のファンを獲得することで、地域で長く愛され続ける団体を目指します。

また、共に活動する会員に対するインナーブランディングにも取り組みます。青年会議所で活動する私たち自身が、青年会議所運動の価値を正しく理解し共感していなければ、JC の理念を地域に伝播させることは難しいものになるでしょう。だからこそ、団体としての方向性や目標を明確にし、組織内の共通認識を広めることで、会員一人ひとりの青年会議所運動に対する姿勢の変化を生み出し、その先にある団体価値の向上や地域発展につなげてまいります。

時代に即した弛まぬ組織改革

価値観の多様化が進む現代において、これまで正しと信じられてきたやり方や考え方が通用しなくなってきました。地域社会をリードする団体だからこそ、そのような時代において護るべき価値と革めるべき価値を見極め、新しいことにも果敢に挑戦し、時として現在の常識とされていることを疑い、壊すことも躊躇わない姿勢が求められると考えます。

これまでの取り組みを否定することなくその意義を見つめ直すことで、発展の改革に着手し、多彩な価値観を持つ会員が前向きに青年会議所で活動することができる環境整備に取り組めます。また、それは一過性のものではなく、常に問い続けることこそに意味があるため、採用しているルールや組織体制の目的や価値を明文化し、今後も時代に即した弛まぬ組織改革を続けられる素地を次代に受け継いでまいります。

おわりに

かの高名な芸術家であるバプロ・ピカソが残した言葉に「できると思えばできる。できないと思えばできない。これはゆるぎない絶対的な法則である」というものがあります。電気を生活の中で利用できるようになったこと。

飛行機で空を飛べるようになったこと。どこでもインターネットにつながるようになったこと。

例をあげると枚挙にいとまがありませんが、その技術が確立し普及するまでは、きっと世間の人々にはこう言われていたはずでは。

そんなことは絶対にできない、と。しかし、先人の誰かが諦めず「できる」と信じて行動し続けたからこそ、いまでは当たり前のもとして世間で受け入れられ、社会の維持と発展に寄与しています。これはテクノロジーの話だけに限らず、政治体制や経済システムなど、人類は幾多の挑戦と失敗を繰り返し、少しずつ社会をより良いものに变化させてきました。それは JC 運動においても同様です。

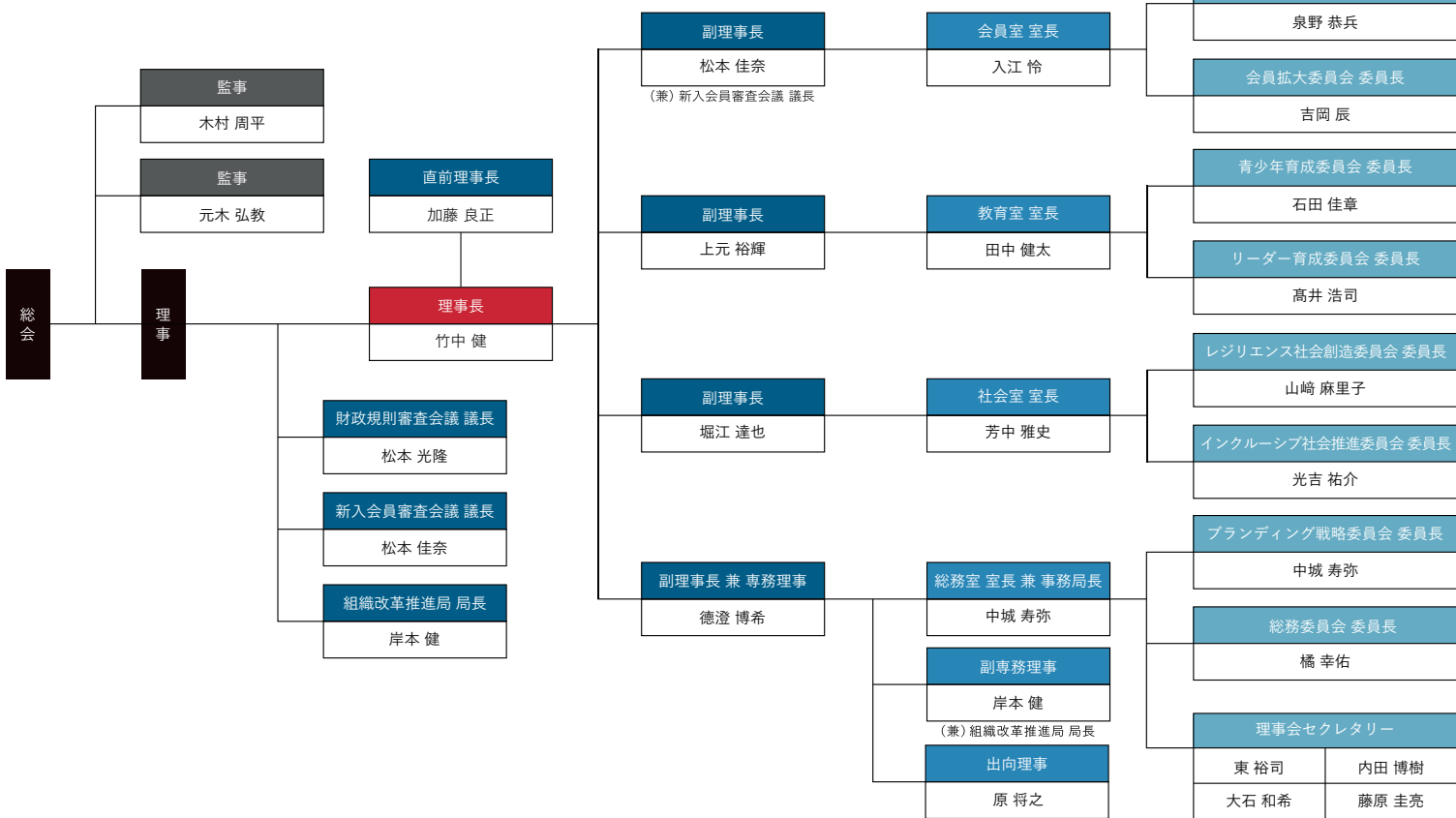
「自分たちにはできない」と思うってしまうようなことも、無限の想像力と弛まぬ努力の積み重ねによって、それを実現させる確率を引き上げることは決して不可能なことではありません。さらに、たとえその挑戦が失敗に終わったとしても、次世代の仲間たちがその失敗を糧にいつか成功につなげてくれるはずです。

だからこそ、自らの可能性を信じ、JC の可能性を信じ、恐れず挑戦し続けましょう。その一歩が、あなたを変え、地域を変え、日本を変えることにつながるのですから。

あなたの心に宿ったドキドキを信じ、ワクワクする 1 年をともに描いてまいりますよ。

第58代理事長 竹中 健

組織図 Organization chart



Board members 役員紹介



直前理事長



監事



監事



副理事長 兼
新入会員審査会議 議長



副理事長
(公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 近畿地区協議会 会務担当副会長)



副理事長
(公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 大阪アソシエーション協議会 LOM連絡推進会議 議長)



副理事長 兼
専務理事



副専務理事 兼
組織改革推進局 局長



財政規則審査会議
議長



出向理事
(公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 協議会 (4期) グローバル・ヘルパライズ 副委員長)



会員室 室長



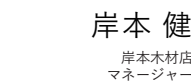
教育室 室長



社会室 室長



総務室 室長 兼
事務局長



岸本 健
岸本木材店
マネージャー



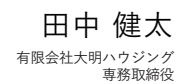
松本 光隆
心光建設
代表



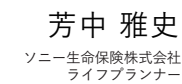
原 将之
L.H.investments LLC
代表



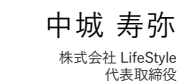
入江 怜
有限会社 入江新聞
取締役



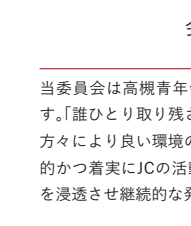
田中 健太
有限会社大明ハウジング
専務取締役



芳中 雅史
ソニー生命保険株式会社
ライフプランナー

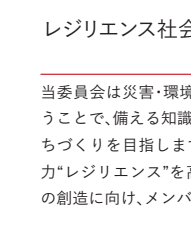


中城 寿弥
株式会社 LifeStyle
代表取締役



青少年育成委員会 委員長 石田 佳章
株式会社カルモ 専務取締役

当委員会は高槻青年会議所で唯一の新入会員受け入れ委員会となります。「誰ひとり取り残さない委員会運営」をスローガンに掲げ、新入会員の方々により良い環境のもとJC活動の楽しさを伝えていきます。また、計画的かつ着実にJCの活動意義を見出す環境を提供するとともに、活動理念を浸透させ継続的な発展かつ確実な成長の機会を提供いたします。



レジリエンス社会創造委員会 委員長 山崎 麻里子
高槻市議会議員

当委員会は災害・環境リスクに対する学びの機会の提供と周知啓発を行うことで、備える知識と行動力を育み、安心して住み続けられる強靱なまちづくりを目指します。そして、委員会名のとおり、現代社会を生き抜く力「レジリエンス」を高め、如何なる困難も糧にして成長できる人と社会の創造に向け、メンバーとともに邁進します。

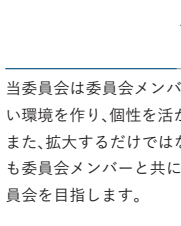


ブランディング戦略委員会 委員長 中城 寿弥
株式会社 LifeStyle 代表取締役

当委員会は高槻青年会議所で唯一、情報発信をする委員会になります。ホームページやSNSなどを通じて高槻青年会議所が行っている事業などを発信し、より多くの方に我々がしている活動を知っていただく事を目指します。多くの方に様々な情報を届け、高槻青年会議所の事を知っていただけるようにメンバーが一丸となってブランディングを行います。



会員開発委員会 委員長 泉野 恭兵
スカイコーポレーション株式会社 専務取締役

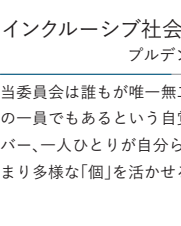


会員拡大委員会 委員長 吉岡 辰
株式会社 近畿エコプランニング 代表取締役

当委員会は委員会メンバー一人ひとりに役割を与え誰もが意見をしやすい環境を作り、個性を活かせる委員会を目指します。また、拡大するだけでなく会員開発委員会と連携し、拡大後のサポートも委員会メンバーと共に行動し最高の形で次年度にバトンを選択する拡大委員会を目指します。



リーダー育成委員会 委員長 高井 浩司
(公益社団法人日本青年会議所 内部会計監査グループ 副代表)



青少年育成委員会 委員長 石田 佳章
株式会社カルモ 専務取締役

当委員会は国際化が加速する現代社会において、次世代を担う青少年が世界の潮流に強く生き抜くための人材を育成する委員会になります。青少年にとって新たな挑戦をする機会を提供することでコミュニケーションスキルと自己肯定感の向上に加え、グローバルかつ多様な価値観を持った人材育成に努めてまいります。



インクルーシブ社会推進委員会 委員長 光吉 祐介
ブルデンシャル生命保険株式会社 ライフプランナー



総務委員会 委員長 橋 幸佑
Shot Bar Crown-Clown 代表

当委員会は組織の屋台骨であることを一人ひとりが自覚し、当たり前のことを完璧にこなす委員会を目指します。既存の事業をこなす委員会だからこそ、その大切さを今一度見つめなおし更なる工夫を加えることで高槻青年会議所のより良い発展に寄与して参ります。



総務委員会 委員長 橋 幸佑
Shot Bar Crown-Clown 代表

当委員会は次世代のリーダーの発掘・育成支援のために活動いたします。青年会議所自体の目的でもあるリーダーシップ構築にコミットし、現代社会におけるリーダーに求める能力を体感する経験を通じて、会員一人ひとりが地域のリーダーとしての自覚を強化するとともに、地域に次世代のリーダーを輩出するべく運動を展開してまいります。



リーダー育成委員会 委員長 高井 浩司
(公益社団法人日本青年会議所 内部会計監査グループ 副代表)

当委員会は誰しもが唯一無二の個人であると同時に、さまざまな組織・集団の一員でもあるという自覚を持つ委員会を目指します。また、委員会メンバー、一人ひとりが自分らしさを発揮しながら働くことができる状態、つまり多様な「個」を活かせるよう環境を整えることを目指します。



総務委員会 委員長 橋 幸佑
Shot Bar Crown-Clown 代表

当委員会は組織の屋台骨であることを一人ひとりが自覚し、当たり前のことを完璧にこなす委員会を目指します。既存の事業をこなす委員会だからこそ、その大切さを今一度見つめなおし更なる工夫を加えることで高槻青年会議所のより良い発展に寄与して参ります。